

地域のお便り



駅南地域の活性化に コミット! ♪

浜松駅のすぐ南に位置する「砂山銀座サザンクロス商店街」をご存知ですか?昔のような賑わいを取り戻そうと、近年は毎月2回ほど朝市を開催していますが、最近では地の利や可能性を評価して、多くの団体が活性化のために様々なチャレンジを行なっています。その中で私も、浜松商業高等学校の調査研究部とタッグを組んで、昨年の春から活動を開始。イベントを行なえば人出は増えるものの、平時においてもそれを定着させられるかが大きな課題ですが、駅南の住人の一人として、こうした活動を通じて地域の活性化に少しでも貢献していきたいと思います。

野球場構想。一歩ずつ前へ

篠原地区に「野球場の建設は可能」という結論が、昨年12月の浜松市議会大型スポーツ施設調査特別委員会で出されました。これは、平成28年2月の県議会と浜松市議会での予算減額修正案の可決を受けて、アクセスや風、アカウミガメへの影響などの調査を実施し、総合的に考えられた上のもの。時間はかかりましたが、今回出された結論は非常に大きな意味を持つと言えます。

今後順当に進めば、公園の基本計画策定について、浜松市議会そして県議会で本格的な議論をしていく流れとなります。篠原地区への野球場を中心とした総合公園整備は、浜松市沿岸域活性化の大きなモデルになり得ます。地域のためにも静岡県のためにも、積極的な議論をしていきたいと思います。



第15号の発行にあたり

平成30年の幕が開けました。今年は、平成という元号が丸々一年間使われる最後の年になります。振り返れば、「平成」は災害の多かった時代でしたが、それでもその教訓は確実に後世に引き継がれていきます。

総括の仕方が新しい始まりの仕方を決める。この節目の一年間に大切に過ごし、新しい時代に万全の体制で臨んでいきたいものですね!



山崎真之輔プロフィール

- ◆ 36歳三児の父親
- ◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- ◆ 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆ 静岡県議会議員(2期目)
- ◆ 所属会派:ふじのくに県民クラブ
- ◆ 所属委員会:厚生委員会
- ◆ 趣味:スポーツ全般、日本舞踊(花柳流)、読書、カラオケ、ボードゲーム

しんのすけ伝言板

● 県議会2月定例会が始まります。

来年度の予算を審議する、一年のうちで最も大切な議会が2月20日(火)から始まります。さらに今回は、次期総合計画も合わせての審議になるため、その位置付けはとても重要です。しっかりと準備をして論戦に挑んでまいります!

● 交流の場「YORUTOCO」 好評展開中!

昨年からスタートさせた、ボードゲームを中心とした遊べて学べる交流の場「ヨルトコ」事業が半年を経過しました。様々な場面で好評いただいてますが、特に世代間交流、婚活イベント、療育現場などに親和性が大きいと感じています。ご関心のある方は、どうぞお気軽にお問い合わせくださいね!

<http://www.facebook.com/Yorutoco>



浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員

山崎しんのすけ 第15号 通信

平成30年1月発行

山崎しんのすけ事務所 | ☎430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

本気が
違う!!



祝 2018年。飛躍の年に!

今年も早半月が経過し、皆様それぞれにご活躍のこととお慶び申し上げます。昨年は、政治家の様々な不祥事が発覚したり突然の解散総選挙があつたりと、国政が大きく揺れた一方、県内では県知事選挙での川勝知事再選と、それに続く次期総合計画の策定着手など、努めて地に足をつけた活動を展開してまいりました。

現在、私たち「ふじのくに県民クラブ」では、これまでの会派活動の検証を行うとともに、次期マニフェストの策定に向けた準備を始めています。残された約1年3ヶ月の任期。これまで以上にアグレッシブに、また地域に寄り添った活動を進めていきたいと思います。



静岡県富士山 世界遺産センターが 完成しました! ☆

昨年末、待望の「静岡県富士山世界遺産センター」が富士宮市内に完成し、世界遺産富士山の末長い継承に向けての歩みをスタートさせました。富士ヒノキをふんだんに使用した逆さ富士の構造が、水面に正富士として映る姿は実に素晴らしいアイデアですが、富士山は文化遺産ですから大切なのはその中身。富士山を愛する全国からの英知を結集しつつ、常に新しい考え方で、誰にでも愛されるセンターとして運営してほしいですね! 皆様も、ぜひ足をお運びください。



みんなで創ろう! 次期総合計画

表面でも触れましたが、現在、静岡県の新たな10年に向けて次期総合計画の策定作業が進められています。「富国・有徳の『美しい“ふじのくに”』の人づくり・富づくり」を大きなテーマとし、以下のような構成で新ビジョンが位置付けられていますが、今後の10年は間違いなく激動の時代となります。ラグビーW杯や東京五輪という明るい材料もあるものの、世界の不安定化、テクノロジーの急速な進展、資源やエネルギー問題、人口減少と超高齢社会への対応など、これまでの延長のような考え方では到底立ち行かなくなるでしょう。だからこそ、一緒に考えていきませんか? 県議会での最終審議は2月下旬に行われます。どうぞ、忌憚のないご意見をお寄せください!

基本理念

富国・有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり

～静岡県をDreams come true in Japanの拠点に～

目指す姿

「県民幸福度」の最大化

- 生まれてよし 老いてよし
- 生んでよし 育ててよし
- 学んでよし 働いてよし
- 住んでよし 訪れてよし



政策体系

〈安全・安心な地域づくり〉

- ①命を守る安全な地域づくり
- ②安心して暮らせる医療・福祉の充実



〈未来を担う有徳の人づくり〉

- ③子どもが健やかに学び育つ社会の形成
- ④誰もが活躍する社会の実現



〈豊かな暮らしの実現〉

- ⑤豊かさを創る産業の展開
- ⑥多彩なライフスタイルの提案



〈魅力の発信と交流の拡大〉

- ⑦“ふじのくに”的魅力の向上と発信
- ⑧世界の人々との交流の拡大



真の目～災害関連死を防げ!～

昨年末、恒例の地域合同防災訓練を行い、私も防災アドバイザーとして全面的に協力しました。今回は、最近頻発する風水害対策の一環として土のう作り訓練もメニューに追加し、約1000人の住民の皆さんに真剣に取り組んで頂けたかと思います。

また、冒頭の挨拶で強調したのは、最近の大災害では災害関連死が非常に多くなっているということです。熊本地震では、亡くなった方のうち約8割が、災害そのものではなく避難生活以降に亡くなっています。これを食い止めるには、現状の対策では不十分。避難所運営のあり方、個人や地域で行うべき備えなど、せっかく地震や津波から助かった命を落とさないよう、新たな発想と実践を繰り返していくことが必要です。私も、県としての支援策の充実を図れるよう取り組みを続けてまいります。



厚生委員会で取り上げました!!

●若年層の自殺対策強化を!

県内の平成28年の自殺者数は、前年より80人少ない602人と大幅に改善しましたが、30歳代以下の若年層の比率が相対的に高まっています。また、神奈川県座間市で「自殺願望」をツイッターへ投稿したことなどをきっかけに、9人の若者が事件に巻き込まれたのは記憶に新しいところ。そこで県は、「自殺願望」などのキーワードを検知した場合に、直ちに「若者こころの相談窓口」に誘導する「検索連動型広告」を実施することになりました。インターネット社会に対応した策を打ち、若い尊い命を救っていく必要があります。

●フレイル(虚弱)予防に本腰を!

フレイルという言葉をご存知ですか?これは、健常と要介護状態の中間に位置する状態を指し、今日少しづつ認知が広まっている概念です。今後の日本の人口動態を考えれば、高齢化に伴う医療費抑制対策は最重要課題の一つであり、フレイル予防はその切り札になると考えます。県ではまず、一つの取っ掛かりとして、オーラルフレイル(口腔機能の低下)対策の取り組みを支援していくとのこと。健康は、もはや個人の問題だけでなく社会全体で考えなければならない大切なテーマとなってきています。今後の施策推進を後押し하겠습니다!



オススメの一冊

『ローカル女子の遠吠え』

▶作者:瀬戸口みづき



焼津市出身の作者が描く、静岡愛に溢れた4コマを中心としたクスッと笑える漫画本^ ^

静岡県民の特徴や静岡県の持つ魅力・資源などを上手に捉えていて、県民誰にでもオススメです。

個人的には、浜松ネタをもっと増やして欲しいですが、それは今後に期待。

現在、1~3巻まで発売中!!

